



「日本庭園を語ろう」

～通訳案内士の視点で
日本庭園を楽しむコツ～



2017年8月24日（木）実施 JGA 第一支部研修終了レポート

8月24日（木）盛夏の折、JGA 第一支部主催の夏恒例となりました「日本庭園研修が」開催されました。出席者は46名（JGA 会員32名、非会員12名、運営委員2名）講師はJGA 正会員、通訳案内士の池沢なるみ氏です。毎年大好評の研修、今回で5回目となります。

午前の部は、9:30に和田倉噴水公園を出発し11時30分まで、イヤホンガイドを利用した東御苑での実地研修です。最近続いた悪天候への心配をよそに、強い日差しと最高気温が34度予想、典型的な夏日となりました。皇居大手門から入場し、東御苑二の丸庭園へ。目の前



に見えている樹木、江戸城の遺構、お堀の植物、出発からずっと、イヤホンからは講師からの楽しくて重要なガイディングが流れてきました。二の丸庭園の雑木林を散策、ひんやりする暗いところから、明るい日向へ。池、滝、山、花を眺め、出席者は熱心にメモを取りながら、汗をふきつつ、実地研修が進みました。その後各自で昼食と休憩を取り、午後の会場へ各自移動。

午後の部は昼食をはさんで、13:30から16:50まで、場所を港勤労福祉会館1階第一洋室に移し、涼しい室内での座学です。

講義は二部構成。第一部は、詳しいテキストに沿って、講師が用意してくださった沢山の庭園の写真をスクリーンで見ながら、解説が進んでいきました。

日本庭園の変遷から、様々なタイプの庭園、水・石・庭木など構成要素からのアプローチなど、多角的に日本庭園について学びました。

講師が楽しそうにお話されていて、出席者をひきつけていたのが印象的でした。「今まで庭園を見て沢山の刺激をうけてきました。その刺激を渡すのが、私の役割です。」と講師は仰いました。今回の研修で、きっと参加者全員に渡ったことと思います。



休憩をはさみ、第二部は浜離宮のビジュアル散策。浜離宮庭園は徳川将軍家の庭園、東京においてお客様に人気の訪問地の一つです。写真に沿って説明があり、散策が進んでいきました。動線についても理解が深まりました。

最後は受講者からのたくさんの質問に対しご丁寧に質疑応答にご回答いただき16:50過ぎに盛況のうちに終了しました。

今回の研修を通じ、日本庭園は深い、様々な鑑賞ポイントがあると学びました。石をひとつとっても、配置方法に意味があります。これが少しでも理解できればガイディングにもっと幅が出るだろうと感じました。



日本にはたくさんの日本庭園があります。今回の研修を経て、まずは近所の庭園を訪れ、樹木をみて、自然を愛でるところから始めてみたい、そして、お客様に庭園の魅力を伝えられる通訳案内士になりたいと思いました。